

平成 18 年 12 月 26 日

## 研修計画書 - 平成19年春 S W 対策

システム開発部 部長 様

システム開発 1 課  
主任

平成 19 年春に実施されるソフトウェア開発技術者試験に対する研修計画を以下のようにまとめました。ご検討よろしくお願い致します。

### 目的

当社は、ソフトウェア製品を多数製造・販売しているIT企業であり、ソフトウェア開発技術者の合格者を増やすために、午後試験対策を行う。

### 期待効果

当企画を行うことによって、現在のソフトウェア開発技術者10名を、20名に倍増させる(=10名が合格する)。

### 受講予定者

システム開発部に所属する基本情報処理技術者で、ソフトウェア開発技術者に合格していない者 40名(目標合格率を25%に設定する)。この40名は基本的に、システム開発部の各課長が指名する。受講予定者一覧は、別紙参照のこと。受講予定者には電子メールで個別に確認し、セミナー第1回の1週間前までに受講者を確定する。

### 見積費用

80万円(講師料) + 20万円(教材費:40人分) = 100万円(税抜き)

### 日時・場所

日時...平成19年1月10日(水), 1月24日(水), 2月14日(水), 3月7日(水)  
合計 4日間(9:00~17:00)  
開催場所...本社 5F 大会議室

### セミナー概要

講師.....示現塾 金子 則彦(プロフィールは別紙参照)

使用教材.....「ソフトウェア開発技術者合格教本」 社刊+レジュメ

使用設備.....ホワイトボード、プロジェクタ

受講者評価.....セミナー終了後に、過去の本試験問題を使用して、模擬試験を実施する。

午前試験対策.....当セミナーでは実施しない。講師が配信している無料のメールマガジンを見て、受講者が各自学習する。

課題.....毎回、課題を出し、次回に提出させる。

#### . カリキュラム概要

第 1 回 1 月 1 0 日 (水)

E-R モデル、正規化、SQL

第 2 回 1 月 2 4 日 (水)

LAN、TCP/IP、LAN 間接続装置、待ち行列

第 3 回 2 月 1 4 日 (水)

同時実行制御、2 相コミット、DFD、モジュール分割、UML

第 4 回 3 月 7 日 (水)

データ圧縮アルゴリズム、ファンクションポイント法、COCOMO 法、PERT 図、アードバリュー分析、デザインレビュー、信頼性成長曲線

#### . その他

アンケートは、毎回 講師が用意したものに記入させ、回収する。

教材は、第 1 回のセミナー開始時に配布する。

研修内容をビデオに収録し、欠席者はこれを見て学習する。

当研修の事務担当者は、システム開発 1 課 (内線1234) とする。

以 上